



Ogasawara 50th Anniversary of Reversion

小笠原諸島返還50周年記念

# Ogasawara Music Festival

小笠原ミュージックフェスティバル実行委員会よりご挨拶

小笠原諸島返還50周年、おめでとうございます！  
2015年の夏に東京都墨田区の「すみだストリートジャズフェスティバル」を運営するメンバーが、お酒を飲みながら、大好きな場所で大好きな音楽を響かせるならばどこがいいか考えたときに、出てきた場所が小笠原諸島です。世界自然遺産小笠原諸島を舞台にしたイベント。そのときとてまわくなくした気持ちになったのをよく覚えていて、小笠原諸島の魅力を体感して、広く発信するようなイベントにしよう！と「アット・ジ・アースプロジェクト」という団体をつくり、小笠原海運の協力のもとで、想いのあるアーティストや島民を巻き込んで、半年間の準備期間で関係者の心に残る素敵なイベントを開催できたと思っています。このイベントが小笠原の人々の財産となることを望んで2017年も運営してきました。そのような活動を評価していただいて今年は小笠



小笠原ミュージック・フェスティバルを

# 10倍楽しみたい



前夜祭開催！  
10月26日（金）の夜、父島の飲食店で前夜祭が開催される予定です。  
場所・時間など詳しくはWEB/SNS、島内の噂をチェック！

おがフェス新聞  
- 目次 -

P.1 実行委員会よりご挨拶  
P.2 実行委員会よりご挨拶  
P.3 10/28母島タイムテーブル、会場図  
P.4 父島会場案内図  
P.5 10/27,28父島タイムテーブル  
P.6 出演者紹介  
P.7 出演者紹介  
P.8 出演者紹介  
P.9 コラム  
P.10 コラム  
P.11 コラム、オフィシャルTシャツ紹介  
P.12 ご協賛のお願い、他

http://ogafes.com

公式 HP も是非ご覧ください

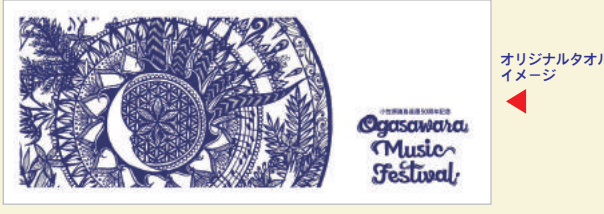
～魂の温度が、違うんだ～  
Ogasawara Music Festival  
今年4月より、小笠原ミュージックフェスティバル実行委員長を務めています、ガッツ(斎藤)です。これまで島内で様々なイベントの企画・運営に携わらせていただきましたが、今回のおがフェスにおいては、今後も島内で継続して開催できる様に、内地からもお客さんが遊びに来くなる様なイベント・フェスを目標に企画・運営にあたりました。  
今や日本各地、世界各地で音楽フェスは沢山開催されており、他と比べても時間と旅費のかかる小笠原の音楽フェスにお越しいただくには、小笠原の魅力や特色を前面に打ち出す必要があると思っています。  
当の私は、アメリカの高校に通っていた頃にDJをはじめ、当時渋谷に密集していたレコード屋や東京のクラブシーンに憧れて帰国し、その後も音楽の為に野を越え山を越え、日本・世界各国の音楽イベントに参加してきました。野外フェスで言えば、フジロックは毎年の様に、韓国ソウル郊外のフェス、米ネバダ砂漠バーニングマン、イタリアボローニャ郊外、ウィーン、イギリス、イビザ島などなど、時間や旅費は度外視でした。そもそも何故そこまでしてフェスに行くのかと考えると、出演者だったり、会場や空間が魅力的だったり、そこにある音楽体験が根底にありつつも、人生が変わる様な出会いがフェスにはあるからだと思っています。人生が変わるとまではいかなくても、宝の様な時間・瞬間がある。これは音楽フェスに限ったことではなく、何かを求めてどこかに向かうという行為自体、またそういった人達が集まる場所は感動体験が生まれやすい様に思います。  
私は元々自然派ではなく、家に籠ってモノ作りをしているのが好きです。それが野外フェスに行く様になり、より気持ち良い音楽空間を求めた結果、自然が豊かな環境にどんどん魅せられて、たまたま訪れた小笠原に着地しました。小笠原に来てからは「自然への興味」が「自然への関心」に変わった様に思います。小笠原に来る人は、何かを求めて来る人が多い様に感じます。人それぞれ活動するフィールドやジャンルは違っても、多様性を受け入れられる異文化交流の場として「おがフェス」が人と音楽と地球とを結び、何か新しいものが生み出される場になることを願います。  
「人生が変わる様な出会い」ですが、本イベント開催にあたって実行委員会メンバーをはじめ、関係者とは人生が変わる様な苦勞も共にしたのではないかとと思っています。至らぬ点が多く、ご迷惑をお掛けした皆様にお詫び申し上げるとともに、遠方からご出演いただいているミュージシャン、サポートスタッフの皆様をはじめ、島内・島外の沢山の方々よりご協力を賜り本イベントが開催できること、心より感謝申し上げます。「返還50周年記念・小笠原ミュージックフェスティバル」楽しんで行きましょう！！  
斎藤崇志

～ご協賛のお願い～  
2016年、2017年に開催された「ジャズフェス」をはじめ、「小笠原ミュージックフェスティバル」開催にあたり、多くの方々から格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
今年は小笠原諸島返還50周年記念事業として、ジャズだけに留まらず、幅広い年代の方々にも楽しんでいただける様、イベント名を「小笠原ミュージックフェスティバル」と変え、小笠原諸島返還50周年記念事業実行委員会主催のもと開催させていただいておりますが、本イベントの運営については「アット・ジ・アースプロジェクト」と「現地実行委員会」とが協力し、今年で実質3年目の開催となります。運営にあたっては、入場無料のイベントであること、また事情を拝察いただきご好意でご出演頂いている出演者や、自費でご参加頂いている出演者やスタッフも多い中、本土からの旅費交通費などがどうしても高額となってしまうことから、財源的には毎年とても厳しい状況です。誠に恐縮とは存じますが、是非とも事情を拝察頂き、小笠原ミュージックフェスティバル実行委員会への、皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

■お申込み方法 お振込にてお申し込みください。イベント当日は本部テントにて現金でのお申し込みを承ります。  
■ご協賛金 1口5千円 何口でもご協賛いただけます。  
■お礼・その他 イベント当日、会場内で協賛頂いた芳名の掲示および、ステージで読み上げさせていただきます。  
イベントオリジナルタオルを差し上げます。  
■お振込先 ゆうちょ銀行 店名 Oー八（読み ゼロイチハチ）普通預金 口座番号 7281909  
口座名義：アット ジ アース プロジェクト ゲンチジッコウインカイ

※領収書は各銀行にてお振込み頂いた際の振込み受領書をもってかえさせて頂きたいと存じますが、当実行委員会の領収書が必要な場合にはイベント当日、本部テントまでお越しください。  
※お振込後、ご協賛名の表記について確認をさせて頂きたく、お手数ですが下記の連絡先までお電話か Email でご連絡いただきます様お願い申し上げます。  
電話：090-9390-3663（斎藤）、090-3608-7837（小田川） Email: info@ogafes.com

求む!!個人協賛  
イベント当日、本部テントにて個人協賛を承ります。  
協賛金はいくらからでもかまいません。  
2千円以上のご協賛で、おがフェスオリジナルタオルを差し上げます!!



【協力】  
Ogasawara Island Jazz 及び Ogasawara Music Festival は島内・島外、たくさんの方々のご協力を得て運営しております。  
～ご協力いただいたみなさま～  
小笠原海運株式会社、すみだストリートジャズフェスティバル、小笠原村イベント協議会、公益財団法人東京都公園協会、有限会社フローラ、株式会社笹本組、株式会社品川建設、太平洋建設株式会社、小笠原グリーン株式会社、有限会社大村電気、森本智道農園、山水園、野元写真事務所、アトリエかたくりこ、244 Creative Studios、フリーペーパー ORB、フリーペーパー DEAL、東京七島新聞社、Summer Girl & Boy、Summer Kids、Love Dance Crew、Zing、スマイルパフェ、Matthew Clem、マスオフォト、KONNO WORKS、高嶺春夫、MUSIC SHARE（順不同）  
【後援】  
一般社団法人小笠原村観光協会、小笠原母島観光協会、小笠原村観光局、公益財団法人東京観光財団  
【協賛】  
キリンビール株式会社、株式会社オメガ・コミュニケーションズ、小笠原村職員組合、第七潮丸、BAR クレヨン、C-Trip、Say!Go!アウトリガーカヌーツアー、ポートロイド、太鼓会有志、グイグイガールズ、西山大地、亀井祐幸、トッシー、小笠原祭会（順不同）  
【実行委員＆ボランティア】  
多賀健太郎、多賀友紀、武田陽佑、鴻野敦司、鴻野日出子、斎藤調、武藤翔子、武藤優月、西山道子、鈴木重雄、池上徹、上本紀子、馬場由紀、釜本真理、能厚準、能舞央、能秀翔、赤須翔、赤須順子、渡辺裕未、吉原美穂、佐藤信子、牛島夕芽、一倉香波、須田杏、並木大悟、Allan McIntyre、小田川明子、上部修一、柏木徹、大津源、百瀬和明、斎藤崇志、高瀬洋、大平礼雄、佐々木優、小西稔紀、宮城ジャイアン、棚澤智子、青木宏行、嶋太郎、棚沢智子、和泉元一朗、福田憲一、藤田曜、高野一海、仲島江世、長吉加代子、阿部範行、小野寺将嘉、川崎タスク、斎藤ミツチャン、杉浦智穂、高瀬由美、木村優、佐々木真希、鈴木創、高野美和、高瀬由美、関口まゆみ、黒澤佳世子、蓑田成美、熊谷清美、鈴木雄大、牛島好加、棚沢智子、両角由祈恵、斎藤さやか、富田マスオ、田村結、渡名喜順子、許景順、大田可奈恵、大田優奈、大田仁奈、宮崎帆那、川上綾子、川上楓、安田篤司、塩田友紀、関口まゆみ、小野寺麻由美、佐藤仙乃、嶋ルリ子、石井聖子、杉原玲子、neaia 杉原将人、那須理恵、中島友海、荻田朋美、吉田裕美、小野恵、守山広一、那須桜子、荻田咲、杉浦夏空  
【発行】  
小笠原ミュージックフェスティバル実行委員会

Editor : GATS  
Designer : TANE Oda Kazue







# 10/27(土),28(日)父島 TIME TABLE

タイムテーブルは変更することがあります

10月27日（土）父島			
サンゴステージ（前浜）	パッションステージ（お祭り広場）	南国ステージ（ゲゲゲ）	
14:00	14:00 開会宣言 14:05 Swing Blow (0:40) 14:45 BimBomBam楽団・元晴		
14:30			BAR & DJ
15:00	14:55		
15:30	(1:00) K4		
16:00	15:55		
16:30	16:05 松永希 (1:00) Ogasawara Special UNIT feat. 山内アラニ雄喜	16:45 音骨 (0:40) 17:25	
17:00			BAR & DJ
17:30	17:30		
18:00	(1:00) HIP BEAN SPROUT		
18:30	18:30	18:35 エマーソン北村 (0:40) 19:15	
19:00	18:55 BimBomBam楽団 (1:00) feat. 竹廣 類		
19:30	19:55		BAR & DJ
20:00	20:00 HOME GROWN (1:00) with Spinna B-ILL		
20:30			
21:00	21:00		

10月28日（日）父島			
サンゴステージ（前浜）	パッションステージ（お祭り広場）	南国ステージ（ゲゲゲ）	
12:00	12:00 開会 12:05 太鼓会 12:30 サマーガール&ボーイ 12:35 片岡えいじ 12:45 zing	11:00 山内アラニ雄喜 12:00 ワークショップ	
12:30		12:45 木村 優 (0:40) 13:25	
13:00	13:00 クニ&ライオンズ 13:40		BAR & DJ
13:30		13:45 REIKO (0:30) 14:15 Oneman Band	13:55 赤須 翔 (0:40) 16:40
14:00			
14:30	14:40 熾火TALKS (0:45) 15:25		BAR & DJ
15:00		15:30 竹内晴奈 (0:50) 16:20	16:00 斉藤シラベ (0:40) 16:40
16:00			
16:30	16:45 Jelly Bats (0:40) 17:25		BAR & DJ
17:00		17:30 Ricky with FSP (1:00) 18:30	
17:30			18:10 ヤドカリシザーズ (0:30) 18:40
18:00	18:45 バスクのスポーツ (0:50) 19:35		
18:30		19:40 SPEAK NO EVIL (1:20) feat. Hironobu Saito 21:00	BAR & DJ
19:00			
19:30			
20:00			
20:30			
21:00			

主催：小笠原諸島返還50周年記念事業実行委員会  
制作：小笠原ミュージックフェスティバル実行委員会、アット・ジ・アースプロジェクト

- ### ■会場における注意事項
- ・ステージ前は基本スタンディングとなります。ステージ前が空いている場合など、一時的なごさ・椅子の利用はかまいませんが、長時間陣取る場合はファミリーエリアをご利用ください。
  - ・荒天の場合は会場変更となりますが、多少の雨の場合プログラムを遂行します。天気が怪しい場合は各自雨具をご用意ください。
  - ・夜ステージ間の移動は足元が暗くなりますので、ライトなどをご用意ください。
  - ・落し物、忘れ物は本部テントで管理いたします。

- ### ■ファミリーエリアについて
- 2日間の長時間イベントになります。ファミリーエリア内にござ、キャンテラ椅子・テラブル、日除けタープ・テントなど、各自休憩できるスペースをご用意いただき、イベント中の活動の拠点としてご利用ください。夜は会場全体が暗くなりますので、電池式のランタンなどご利用ください。
  - ・ファミリーエリアの場所取りは、10月27日午前9時より開始します。
  - ・スベースは譲りあってご利用ください。
  - ・日除けテントやタープは風で飛ばないようにしっかりとベグなどで固定してください。周りの木々などにロープを貼って木を傷つけないでください。
  - ・日除けタープやテントなど、27日のイベント終了後、そのまま翌日まで

- その場に置いておき、また翌日利用してもかまいませんが、イベント終了後は会場内にたまらず、イベント会場から速やかに解散してください。
- ・ファミリーエリア以外は日除けタープ・テントなど張らないでください。
  - ※出店者を除く
- ### ■その他
- ・会場内におけるトラブル、事故やケガ、盗難、紛失等につきましては、主催者は一切の責任を負いかねます。
  - ・運営の都合上、上記ルールは予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。



開催日時：10月27日（土）14:00～21:00  
10月28日（日）12:00～21:00  
※場所取り：10月27日（土）9:00～

父島会場図

【荒天時会場：地域福祉センター1階、2階】  
荒天時は会場の変更となります。会場を変更する際は、開催前日にホームページSNSで発表します。

いやし 癒し処 どころ

イベントの時に結成される【癒し処】集団。今回は2名のニューフェイスを迎えての総勢6名で集結♪みんなの日ごろ溜めているストレスや疲れた身体、解しちゃいます。ウォークインスタイルでの出店。

\*事前予約もOK！（予約なしでセラピストが空いていればすぐに受けられるスタイル）所要時間は10分～受けられるものもあり。気軽にお立ち寄りください。6名がイベント両日いるとは限りません。当日発表！店頭貼り出し致します。\*スタッフと内容、料金については11ページをご覧ください。

【癒し処】お問合せ：許 景順（ほう きょんすん）  
TEL：090-2141-3003 まで

小笠原諸島返還50周年記念事業  
実行委員会

「50色のえのぐであそぼう」ぬり絵返還50周年を記念したオリジナル絵具「OGASAWARA 50 COLORS」を使ってぬり絵をしませんか。絵柄・・・10種 所要時間・30分程度 小さなお子様は保護者同伴でご参加ください。

営：10/27 14:00～16:30（受付終了16:00）  
10/28 12:00～16:30（受付終了16:00）

Menu

たこ焼き（串焼き）  
（1パック6個入り）

営：10/27 15:00～21:00  
10/28 16:00～21:00

Menu

ローカルベーカーリー  
ガリックフランス  
明太子フランス  
ラスク、プリン

営：10/27 14:00～21:00  
10/28 12:00～21:00

Samurai Bar TAO

日本酒をロックスタイル、ソーダ割りスタイルで用意していますので、普段日本酒を飲まない方にも是非来ていただきたいです。日本酒もスッキリとした物を中心にそろえていますので、フェスにピッタリフィットまちがいなし！！

- ・サムライロック
- ・サムライソーダ

日本酒6種類

営：10/27 14:00～21:00  
10/28 12:00～21:00

Menu

山笠原祭会  
2016年「2017年 Glazz Festival」から出店皆勤賞！今年も美味しいビールに温い熱燗、チキン&ポテトでフェスを楽しみましょう！

おがフェスオフィシャル生ビール  
日本酒、フライドチキン、フライドポテト

営：10/27 14:00～17:00  
10/28 12:00～21:00（予定）

Menu

おきい坂  
島のイベントに出店して一年になる大判焼き「おきい坂」定番のあんこからお惣菜館までバラエティー豊かなメニューを揃えてお待ちしております。

大判焼き  
あんこ・各種クリーム・惣菜館

営：10/27 14:00～17:00  
10/28 12:00～21:00



## エマソロ

今回が初小笠原! のエマーソン北村です。松永希さんとは、旦那様である故・松永孝義さんと共に MUTE BEAT に参加していたことから始まる縁。そのお陰でこのフェスに参加できて、本当に嬉しいです! 「エマソロ」は僕の一人プロジェクトで、レゲエを基本にしながらも、楽しいだけのもとはちょっと違う、風景のある世界。日本全国さらには韓国で行ってきたライブをそのまま、小笠原の皆様に届けます。島のみなさん・フェス参加のみなさんとの実りある交流を、楽しみにしています!



# HIP BEAN SPROUT

初めまして!同じ  
”都内”で活動し  
ているロックバンド  
HIP BEAN  
SPROUT(ヒップ  
ビーンスプラウト)  
と申します!  
バンドのライブを  
観るのは初めて!  
という方も盛り上  
がる、そして楽  
しめるようなライブ  
をしますのでぜひ観  
にきてください!  
24 時間かけで小笠原へ来て、生半  
可なライブはしません。  
宜しくお願い致します。



profile ▶

## Swing Blow with BimBomBam 楽団 & 元晴

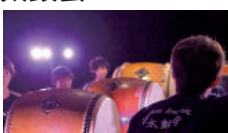
Swing Blow は今年で結成 25 周年を迎えるビッグバンドです。転勤等もあり結成当初のメンバーは 1 人もいませんが、会社員、教員、主婦、公務員など様々なメンバーで演奏を楽しんでいます。ビッグバンドならではの曲をはじめとして色々な曲に挑戦しています。皆さんに楽しんで聴いていただけるように頑張ります！




profile ▶

## 太鼓会


子供たちと一緒に  
楽しめる、大人の  
サポートメンバー  
大募集中です！初  
心者大歓迎、どな  
たでもお気軽にど  
うぞ！





お問い合わせ

02-2622-0000



曼荼羅  
COFFEE  
Are You  
Experienced?  
自家焙煎  
一ヒ一  
営：10/28 12:00 ~ 無くなり  
次第終了（最長 19:00）

## SPEAK NO EVIL with Hironobu Saito

2016 年の Island Jazz Festival から始まって、  
毎度出演させてもらってること、この楽園に何度も  
帰ってこれることに、感謝感謝です！  
Speak No Evil は、もはや小笠原抜きには語れず、  
ニューアルバム「Late Bloomer」には、小笠原  
古謡をモチーフにした「URAME」や、小笠原の  
歴史を知って作った「KUZIRA」なんて曲も入っ  
てます。

諸事情により発売が遅れてしまったこのアルバム、  
なんとか Ogasawara Music Festival に間に合わせる予定なんで（笑）、  
ぜひ会場で、どこよりも早くゲットしてください！

Speak No Evil 巽朗




profile 

## Hironobu Saito

今回で3回目の小笠原…  
島の友だちに再会できるのがますます楽しみにな  
ってきました。交流させていただくなか、知れ  
ば知るほど、大自然、歴史、文化…奥の深さを  
感じます。

返還 50 周年という節目の年に一緒にさせてい  
ただき光栄 & 感謝です。

みなさんとの再会を楽しみにしてます！

A photograph of Hironobu Saito, a man with a beard and mustache, wearing a grey fedora, a dark jacket over a white shirt, and patterned pants. He is sitting and playing a blue electric guitar with a white pickguard. The background is a plain, light-colored wall.

## 松永希 Ogasawara Special UNIT feat. 山内アラニ雄喜

今回の松永希ユニットは、島のみなさんの強いリクエストによりアラニさんこと山内雄喜さんをお招きし、様々なアーティストをサポートしながらソロ活動「エマソロ」がほんとに素晴らしいエマーソン北村さん！そして私のソロバンドでも大活躍してくれてるカリブソバンド「カセットコンロス」のアズドウケンジロウさん！3人とも小笠原初上陸！Ogasawara Music Festivalのためのスペシャルユニットになります！

お楽しみにー！

profile 





## 山内アラニ雄喜

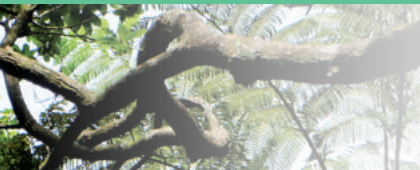
アローハ！アラニです。復帰 50 周年おめでとうござい  
ます☺！今回初小笠原訪問をさせていただきワクワク  
楽しみにしています。小笠原はフラやハワイアン ミュー  
ジックがとも盛んだと聞いています。当日はウクレレ  
ワークショップを通じて島民のみなさまとのふれあい  
も楽しみにしています。曲は「恋の独木舟」ハワイで  
のタイトルは「アレコキ」、という古い曲を練習します。  
当日お会いするのを楽しみにしています。  
【ウクレレワークショップ】  
開催日時：10 月 28 日（日）午前 11:00～正午まで  
参加される際はウクレレをお持ちください。

check it! ▶

"Nā Mele 'O Hawai'i E 'Alani"8 枚シリーズ（各 2500 円税別）







**菊地 崇 (フェスおじさん)**  
フリーペーパー DEAL 編集発行人。Switch、balance、88、Lj など、常に「カウンター」を視点に雑誌・フリーペーパーの編集や執筆をしてきた。国内外のフェスに数多く出没し、「フェスおじさん」というニックネームでも呼ばれている。10月に発行したばかりの DEAL 最新号は「伊豆南」を特集。  
<http://www.dealmagazine.net>

「フェスおじさん来島」  
「カウンターカルチャー」をテーマに全国のフェスなどの取材を行っている「フリーペーパー DEAL」の編集長・ライターである通称「フェスおじさん」こと菊地崇さんより、おがフェス参加にあたってご挨拶いただきました。10月10日発行の「DEAL」号「も持ちただけのこと」で、楽しみます！  
今までで、もしかしたら「もっとも遠い」ところで開催されているフェスへの参加かもしれません。ボナルーやコーチェラといったかつて行ったアメリカのビッグフェスよりも、どんな時間になるのかイメージがつかない。それは大きな期待への裏返しでもあります。小笠原という場所とどうフェスがリンクしているのか。楽しみます。船酔いだけが心配。会場のどこかで DEAL を配付する予定で、見かけたら手にとってください。



## Free Paper ORB

2016 年に創刊した、小笠原諸島のヒト・モノ・文化・歴史などを発信するフリーペーパー「ORB」をご存知だろうか。おがフェス開催にあたって、フェスの方向性などについて助言・協力をいただいた「ORB」のルディー・スフォルファ編集長より一筆頂いた。

もっと若かった頃はよくフェスに行っていた。とは言っても、当時は「フェス」という言い方ではなく単純に「野外」という括りだった。僕が思うには最初のフジロックをきっかけに海外のロックフェスティバルのようなイベントが日本でも開催されるようになっていった。さらにサイケトランス・テクノ全盛期のおかげでレインボー 2000 以降の野外レーヴも多くの人を集めるようになった。今やフジロックやサマーソニックなどの超メジャー音楽イベントの他に大小様々なフェスが各地で開催されるようになっている。そしてついに、国内で最果てといってもいい小笠原諸島での「フェス」が、2016 年に初めて開かれた。翌年の 2017 年にも開催され、今年は小笠原返還 50 周年ということもあってさらに大きいイベントになるだろう。

小笠原ミュージックフェスティバルの特徴といえば、言うまでもなくその美しい自然のバックドロップだ。世界自然遺産でもある国立公園での音楽フェスはおそらく小笠原だけだろう。また、アーティストや参加者も同じ船での旅を共有するというのも、なかなかできない体験のはずだ。そしてこれらの特徴に加えて個人的に感じるおがフェスの魅力は、このイベントの「手作り感」だ。小笠原には音楽イベントなどの開催や企画を請け負ってくれる業者はいない。機材も内地に比べたら限られているし、24 時間の船で運ぶのも大掛かりになる。だからここにあるもので工夫し、想像力を使いながら自分たちで作る。本職でなくても力を合わせて、真剣に楽しもうとするその姿勢には、なんとなく昔の「野外」の時代を思い出させる。そしてそれは現代社会の流れにも合っていると思う。

技術の発展が加速していく一方で、最近ではネットや携帯などが普及する以前の時代のものの価値が見直されている。音楽の世界では LP やカセットが復活し、電子機器やネットの読み物よりも紙媒体の良さが再確認されている。生活環境やライフスタイルを見つめ直し、地方へ移住する人も増えている。

フェスについても、地域に密着した小規模なイベントについても聞くようになった。その場所にあるもので作り上げて周りの人たちと自然の中で音楽を聞くという、フェスの楽しみ方の原点を求めている人が多いからという気もする。おがフェスには、そんな「古き良き時代」の感覚が流れている。

Free Paper ORB Ludy Sforza

## 木村優

島に住んでもうすぐ 10 年、日々感じた事を気がつけば歌にしていました。酒と仲間がいたから出来た音楽です。荒削りですが、お手柔らかに聞いてやって下さい。



profile ▶



## Summer Girl & Boy, Summer Kids

皆本当に仲が良く、明るく楽しく笑いの絶えないダンスチームですが、決めるところはかっこよく決めてくれます!! 皆さんも一緒に楽しんでください!



profile ▶

## ヤドカリシザース

陰ながら島を恋慕う LOVE&PEACE の自称島っ子である。



profile ▶

## 熾火 TALKS

ボーカルのツチダです。僕が父島に在住していたときに書いた曲を持って父島へ伺います。島で暮らした日々、ボニーナヤンキータウンで演奏した思い出は今もかけがえない宝物です。祝・返還 50 周年!



profile ▶

okibitalks  
熾 火 T A L K S

## 片岡えいじ

大阪生まれ大阪育ち、オモロイヤツはだいたい友達。現在は小笠原父島に移り住み子育て奮闘中。



profile ▶

## Zing

音のあふれるこの島で音にノって踊れたら更に楽しい事を伝える為に今年の 5 月から活動を始めました! 始めて人前で踊る子達もいますが、ダンサーもお客さんも楽しんでほしいです!



profile ▶

## Sugi

最高の場所で最高の人達と遊べる 2 日間アイランドスタイルで DJ やらしてもらいます。飲んで踊って!! party time 前浜で波乗り出来たらなんて期待もしています。



profile ▶

## Gatz

南国ステージに踊りに来てください! DJ のタイムテーブルは当日発表予定です!



profile ▶

## DeLa

小笠原返還 50 周年のタイミングで、こんな素敵な祭典に参加させて頂き、とても光栄です! 素晴らしいミュージシャンの方々との再会、そして新たな出会いを楽しみにしています!



profile ▶

## Megumusix



島の魅力、船旅の非日常感、素晴らしい野外フェスに出逢った皆さんと共有出来たことに感謝し今年も訪れることを心に決めていました。今回 DJ 参加させていただきます! 一緒に楽しみましょう!



profile ▶

## PA 紹介

【サンゴステージ】  
瀧口 和徳 (Takiguchi Kazunori) - 上部 修一 (Shuichi Uwabe) - 父島音響  
【パッションステージ】  
熊田 好容 (Yoshiyasu Kumada) - Hibino Recordings  
高櫻 哲広 (Tetsuhiro Takazakura) - Feel And Sound Production  
柏木 徹 (Toru Kashiwagi) - 父島音響  
【南国ステージ】  
父島音楽愛好会  
「PA サポーター絶賛募集中!」  
【母島ステージ】  
川原壮太 (Sota Kawahara) - Senzoku Gakuen College of Music  
「今回初めての小笠原、そして初めての OMF 参加となります。音響として心地よい音を、音楽を、皆様にお届け致します! 思い出に残る素晴らしいフェスティバルになるお手伝いができれば幸いです。どうぞよろしく願致します!」  
橋本直 (Hashimoto Tadashi) - 母島 ビッチ



## MC ズ



えびゆみ: フットサルも大好きな、喋って踊れる体育会系モデル  
M シーマ: 小笠原村が誇るスーパー JUKE BOX  
ダイナマイト・マサル: 島内リングアナと言えばこの人。屋台もスペシャル実況中継。

## Salty



自然とすべての生き物が調和されるお祭りにしたいです。



profile ▶

## ily drawing

iphone ケース、

ハガキ、

イラスト、

チェアマッサージ

(時間帯によりやろうと思っています)

営: 10/27 14:30 ~ 19:00  
10/28 12:00 ~ 18:00

## encourage you

オラクルカードのリーディング。宇宙や世界のあらゆる精霊たちから、"今" あなたに、伝えたいこと。  
夏のはじめに小笠原・母島にやってきて、ちょっと長い、旅と夏のおわりを、おがフェスで迎えます。父島で、あなたに出逢えることを、心から楽しみにしています。自分の本当の気持ちを確かめたいとき、新しい事を始めるとき、人生の道に迷ったとき・・・あなたとの出逢いを待っているカードが、きっと、ここにあります。

営: 10/27 14:00 ~ 17:00  
10/28 12:00 ~ 21:00

## Islandbead samasama



父島で手作りのガラス アクセサリーを作っています。  
小笠原の自然の中で、なんとなく出来た作品です。

営: 10/27 14:00 ~ 21:00  
10/28 12:00 ~ 21:00

ガパオライスは、フレッシュな野菜を使ったタイ風鶏そぼろご飯。日本酒のシリーズで、なぜかアジアンをゆるくやっています。

営: 10/27 14:00 ~ 21:00  
10/28 12:00 ~ 21:00

居酒屋ふくちゃん  
モウ煮

営: 28 日 12:00 ~ 21:00  
1 日のみ営業



続「俺の小笠原」

「ども、Ricky with FSP の Ricky です!! いや、来たよ。来ましたよ。「俺の小笠原」の続編のオフアー!! 嬉しじゃないですか、前回たしかに全然書き足りなかったという記憶だけはあるからね。そんな訳で待つてました!! このオフアー。ところで、前編というか、前作は皆さんもう読んでるんですか?? 小笠原ミュージックフェスティバルの冊子などに載ってますので、読んでみて下さいね!! じゃないと、これ何だかよく分からない流れだから、きつと。

で、前に何を書いたのか自分でもうる覚えだったので、読み返してみただけど、なんてった。ほとんど船の話と雑談で終わってるじゃないか! すごい文書長いのに、肝心な小笠原については3割ぐらい。いや、3割ないかも。これじゃ魅力が伝わらんだろ!! と、書き手の本人が悔しく思ってるので、今回はちゃんと小笠原に触れながら存分に良さを伝えられたら良いな。そんな気持ちで書いてみたいと思います! ちなみに、今回もそれに大作だ! 最後まで読んでね。では、早速ですが。小笠原と言えばいつ、そのおなたつ!! 何か思い浮かびます?? 「自然がいっぱい」といおい、なんてザックリとした答えなんだ。」「とおい、ならも、何となく「自然」と言う言葉に全て吸収されてしまいうような答えをイメージした方が多いんじゃないですか? 特に「海」とかね! そう、僕も始めて小笠原に行った時にとにかく驚いたのは、最初に出迎えてくれたのがクジラだったって事!! ブローって分かります? クジラの息継ぎの時にでる水しぶき。あれを船から生で見た時は感動した。なんて言うか、別世界にきたなってぐらいの驚きと興奮。今これを読んでるって事はもう島にいるのか!? それとも船の中なのか!? 分からん!! 分からんが、きつと感じるよ。「自然」の魅力。自然の魅力の1つがやっぱり海かな。特に海好きの自分にとってはたまらん場所!! ダイビングの船からもクジラを見たり、ウェザーステーションと呼ばれてる展望台からもクジラが見れる!! でもクジラは季節によってだから、今回はきつと見れない! 残念!! おい!! 見れないのに書くよなって思うかもしれないけど、だって感動したんだもの。書くでしょうよ。クジラは見れないけれどウェザーステーションは展望台って言うぐらいだからそれなりに高いところであって、そこから父島の海を一望出来る!! 小笠原の海の魅力を感じられる場所の1つ。

そう言えばジャズフェス開催初年度となった2年前は、そのウェザーステーションでもゲリラ的にライブやらせてもらったな。あれは演奏してて空気分も含めて楽しかった。その様子をドローンで撮影してもらって、これ読んでる方にも見てほしいわ。島で演奏してるー!! って感じが良く分かる映像なので。いかん、今回もついつい話が脱線してしまう。海についての話の続き! クジラは見れないけれど、イルカはいるはず! さすがに船出して多少は沖合に行かないとダメだけど、運が良ければイルカと一緒に泳げるかもね。あとダイビングってワイド出したから、ちょっとしたエビソードを1つ書くと、私、実は過去に約300本ぐらい潜ってるダイバーなのです。素人にしては、それなりに潜ってきた人なんだけど、とにかく大物に出会う運を持ち合わせていない!! ジンベイ狙っても不発、ハナマー狙っても不発、マンタ狙っても群れに出くわさない。もうね、一緒のボートになった人が可哀想になるぐらい狙った獲物を逃す!! 今回も潜り行くから、もし一緒の船になるかもしれない人の為に前もって言うておきます。なんだか御免なさい!! どのショップとか、いつ潜るかは書かないから島の人からの噂とかで探してみて。でね、話を戻すと唯一狙って見たサメががいるのが小笠原なんです。シロワニってやつ!! 写真で見るとイカつい顔してるから怖いんだけど、そんな怖くない奴なんだってさ。で、サメとか見れるのテンション上がるから絶対見たいって話になって潜り行ったんだけど、それなりに深い所にいらつしやるようで、小笠原の海といえど視界がそんなに良くない。そんな状況にも関わらず、いきなりあのサメが目の前に来たらそりやビビるわ!! シロワニ分らない人はね、今すぐ携帯でググってみて。すぐ出るからシロワニで。しかもデカイのね、案外。そんな奴が2匹もいらつしやって、グルグルと自分の周りを回って下さるもんだから、まあ落ち着かない。なんなら、船に戻る時に後ろを振り返ったら、一匹がかなり浅いところまでお見送りのつもりなのか付いて来てくれていて、迷惑なぐらい姿を存分に見せつけてくれました(笑) サメ好きダイバーの皆さま。小笠原では必ずシロワニ見れると思います!! ちなみに、シロワニ見に行く前日に南島って言う、これまた小笠原の名スポットに行ったんだけど、この南島は紅の豚のモデルになったんじゃないかと言われてる場所ね。えーと、想像出来ないって方は、俺のツイッター見て! 南島の写真を背景にしてるから。うおー、これ紅の豚の場所じゃん!! っ

てなるので。で、これ書いて良いのか分からないけど、ガイドの方に散々、南島の海入る時は足切るから気をつけてねー! と言われたにも関わらず、海飛び込んで足切りました。で、本当に綺麗な白砂に血の足跡残して帰りました。ちなみにウチのメンバー、もう一人も僕が怪我してるのを見てたはずなのに、同じく足切りました。おいおい。ちゃんとガイドの言うこと聞きました。そして、小笠原の海に飛び込む時は特に女性の皆さん、気をつけましょ。怪我すんぞ! 割とその傷が深くって、ケロイドとして思い出と共に足に今も刻まれております。シロワニに会いに行った時も血をたらしながら潜ってたので、シロワニが浅瀬まで付いてきてくれたのは自分の魅力的な血のおかげかもしれないな! その怪我に纏わる話ですが、僕らが南島で怪我したって話はあつという間に島の方に知れ渡ってました。恥ずかしい。それぐらい、島で起こった事は島の人に知れ渡るのが早いのも小笠原の特徴です。で、自然の魅力の二つ目は「夜空」!! 同じ東京に住んでるけど、夜空を見上げてても真っ暗な空と街頭の灯りが目に入るだけで、内地にいる時は普通に生活してたら空なんて気にしないでしょう? だからこそ、夜の小笠原の楽しみ方の1つは星を見に繰り出すのがオススメ! 小港って言う場所があります! 毎年、小港にも必ず繰り出してるんだけど、夜に行くって付近は真っ暗。もし一人だったらスパー怖いと思う!! だから行くなら数人で行くことをお勧めします。去年も行って思ったんだけど、やって良いなら肝試し大会とかやりたくなるような場所。多分、泣くやつ出るな。それはさておき、海に向かって少し細くなった道を歩いて行く時から地面に注目!! 何やら動く影が見えるはず。いや、別に怖い話してるわけじゃなくてね。でも、本当にガサガサみたいな音がするんです。足元とかで: その正体はでつかいヤドカリ! ほんとデカイからビックリするよ。そこら辺にこのヤドカリが歩き回ってるから。でもこのヤドカリ、よく見ると可愛いやつなんです。で、ヤドカリを踏まないように浜に出る。浜に着いたら皆さんで横になって、携帯とかの明かりも消して空を見る。想像してみても、図鑑で見たような星が写真じゃなくてリアルに広がってるのを。とりあえず第一声として「わあ」って自然と言っちゃうから。もちろん期待のアイツも流れます。流れ星!! そういえば、写真とか撮るの好きなメンバーは三脚持ってたことなかった事を相当後悔してたな。最近写真撮るの好きだから、撮りたくなる気持ちも分かる!! だけど、この空は生で見る

よりキレイな物は無い気がする。ザーっと思えてられる感じ。この小港では実はライブもやらせてもらいました!! 海から少し離れた所に山に囲まれた広場があって、初年度そこでライブやった時の気持ちの良さときたら、もう俺の少ないボキャブラリーでは表現出来ない。本当に良い時間だった。あつ、例えるならグリンラベルのピールのCM撮れそうな場所!! グリンだよ。って言いにくるようなね。2年目にあたる去年の小港ライブはスケールが大きくなり、小港エリアの三ヶ所でライブを開催して大盛り上がり!! 小笠原ならではの自然の中のライブ!! 個人的にはブチフジロックに似た気分が楽しかったなー!! って、何だか自分の思い出話が多くなってすみません!! そろそろ次の魅力の話しましょうかね。自然の魅力の次に感じる魅力! それは「人」の魅力。もちろん、島の方との交流し出来るから断言は出来ないけれど、少なくとも自分が小笠原で出会った人はみんな明るくて笑顔が似合う。大人も子供も島の生活を楽しんでる感じが凄く良い。島と言うと、何だか年齢層も高くて活気がない、あとはネガティブな言い方をすると若干閉鎖的なイメージを持つてる方も少なからずいると思うんだよね! でも既に船が人港した時からそんなイメージすっ飛んでるんじゃない? 本当に活気に満ち溢れてるし、ウェルカムムードがハンパない。船降りた瞬間から空気のの違いを感じるし、島の人の勢いに飲み込まれる。今年で3回目の小笠原だけど、島の人と再会するのが、すつこい楽しみなんだわ!! これ書いてる段階で勝手にワクワクしてるからね、俺は。こんなに人と会うのが楽しみだー!! って思える場所、そんなないよ。それぐらい自分の中では何だか特別な場所と言うか、魅力に魅せられた場所。なんて言うのかな、東京ってとても人に興味を持たない街な気がするんだな。ある意味、その関心のなさが住みやすいって人もいると思うけど、やっぱり俺は人が好きだ。遊ぶ場所だって沢山あるし、お店だって沢山ある、何だって東京には揃ってる!! でも、同じ東京都という場所でも小笠原には小笠原にしか無いものがある。そんな訳で、せっかく島に来るんだから、島の人と仲良くなれたら、もっと小笠原を知れるし満喫できると思う。何よりも島を好きになれると思う! 今回初めて小笠原に来た人は、是非島の人と積極的に話してみても如何でしょ!? お店の人でも宿泊先の人でも、なんなら今回のイベントの関係者でも良いんじゃない? 接点はいく

らでもあるはず。去年だけな、自販機の前で偶然出会った人達とそのまま青灯台と一緒に飲んで仲良くなっちゃったとか、あれも楽しい思い出だ。そんな自然と人の魅力を併せ持つ小笠原で開催される小笠原ミュージックフェスティバル。楽しいに決まってるじゃないか!!! 豪華なアーティストが出演するし、本当に近くで演奏を楽しめる、そして何よりも無料!! しかも今回は2日間の開催で、母島でも開催される!! 好きなアーティストを追って母島行っても良いし、父島で過ごしながらフェスを楽しんでも良いし、夜の時間だけフェスに参加するも良い!! 楽しみ方は自由!! 小笠原って場所に年に何回も来れる人って、そうはいないと思う。そんな小笠原で開催される音楽!! よく考えたらすこいよね!? とても貴重な機会に来島して、尚且つこれを読んでくれている、あなた!! 全力で楽しめよ!! 僕らアーティストも全力で楽しめよ!! 全力でイベントを盛り上げます!! 会場に一步踏み入れれば、皆んなフェスを楽しむ仲間!! 最高な場所、最高の笑顔で過ごす時間。なんて幸せな瞬間なんだ。他にはない唯一無二の音楽フェスへようこそ。きつと、忘れられない時間となるはずです。あとは会場でお会いしましょう。帰りの船に乗った時。また小笠原に来よう! 行きたい! そんな気持ちになっっているはず。

Ricky from Ricky with FSP



Ricky with FSP  
1st アルバム  
「Another Chance」  
CD ¥2,500 販売中!

オフィシャルTシャツ、会場にて販売!

毎年恒例となった「ジャズフェス」Tシャツ。今年どんなデザイン? Tシャツの表面をデザインした父島島民の萩原みづきさん、初年度のジャズフェスに内地より参加し、Tシャツやポスターのデザインを担当、今年はTシャツ裏面にもプリントされているイベントタイトル「Ogasawara Music Festival」のロゴ(文字)を描いた、多賀ゆきさんにお話を伺いました。

Q1. どんなことをイメージしてデザインしましたか?

みづき: イベントの時に限らず、幅広い年齢の方に普段着でも着てもらえるデザインを目標に描きました。抽象的だけどしっかり見ていただくと音楽と小笠原の豊かな自然を連想できるかなと思います。見た人の想像次第でそれぞれの解釈が生まれるのも楽しみです。Tシャツデザインより先にパンフレットのデザインをさせていただったので同じモチーフを組み込んであります、是非見比べてみてください。

ゆき: 小笠原のきらめく波と、島の人たちのパワフルなエネルギー

Q2. デザインを通して何を伝えたいですか?

みづき: 今までのイベントTシャツには無かったようなものを作りたいくて、私の中では"攻め"のデザインです。「夢受け継いで50年、未来へ羽ばたけ小笠原」ということで、文化や歴史をしっかりと受け継ぎ残しつつ、これからは若い世代も新しい方向から小笠原を盛り上げていく戦力になっていけたら素敵だと思っています。先ずは今回携わせていただくにあたり、各地のフェスTシャツと張り合えるデザインを私のスタイルで描き上げました。色々と考えて想いも込めていますが、そんなことより"カッコいいじゃん"って思ってもらえたらそれで充分です。

ゆき: 音楽と島のコラボレーションで湧き上がるビッグウェーブ!

Q3 その他、イベントに向けてひとことお願いします

ゆき: 今でも初めて小笠原に降り立ち、音楽に集まって島中の人々が盛り上がってくださった、人生が変わるようなあの瞬間を覚えています。今年も開催できてとても嬉しいです。大人も子供もみんな気持ちよくなりましょう!



\*Tシャツの数には  
限りがございます。  
欲しい方は是非  
お早めに!

Ogasawara Music Festival Tシャツイメージ図

Tシャツベース: オフホワイト 色: オーシャン

Adult: ¥3,000 (税込)  
Kids: ¥2,500 (税込)



Tシャツベース: オフホワイト  
色: ペールグリーン



Tシャツベース: ネイビー  
色: ホワイト



Tシャツベース: アーミーネイビー  
色: パステルイエロー



Tシャツベース: ピーチ  
色: ホワイト



Kids

Tシャツベース: ミディアムブルー  
色: ホワイト



Kids